

さらにブラッシュ・アップ! 世界が誇る“華麗なるフィラデルフィア・サウンド”

4/25▶30

フィラデルフィア管弦楽団

THE PHILADELPHIA ORCHESTRA

シャルル・デュトワ 指揮

CHARLES DUTOIT, Chief Conductor and Artistic Adviser

マルタ・アルゲリッチ ピアノ

MARTHA ARGERICH, Piano

アメリカ5大オーケストラ(ビッグ・ファイヴ)の1つである名門フィラデルフィア管は、ストコフスキー、オーマンディ、ムーティ、サヴァリッシュ、エッセンバッハら錚々たる歴代の音楽監督にじっくり育てられ、甘くゴージャス、極上のメロウなサウンドで今なお世界の音楽ファンを魅了、オーケストラ芸術の粋として燦然と歴史に輝いている。この名器を指揮するのは、2008年から首席指揮者に就任した、かつてモントリオール響を世界のスターダムに押し上げ、またN響の音楽監督を務めたことで日本でも人気の高い色彩の魔術師、シャルル・デュトワ。絶妙のマッチングによる、そしてデュトワ十八番のストラヴィンスキー三大バレエは、オーケストラを聴く最高の醍醐味を贅沢に味あわせてくれるはずだ。

公式HP▶<http://www.philorch.org/>

シャルル・デュトワ(首席指揮者/アーティスティック・アドバイザー)

スイス生まれ。1977年から四半世紀の間芸術監督を務めたモントリオール響との活動は世界の音楽シーンを代表するもので、そのほか超一流オーケストラに数多く客演を重ねている。1990年以来サラトガで行われるフィラデルフィア管のコンサート・シリーズの芸術監督を務め、2008年には同管の首席指揮者/アーティスティック・アドバイザーに就任した。

予定される曲目

ストラヴィンスキー:「春の祭典」「火の鳥」「ペトルーシュカ」
ラヴェル: ピアノ協奏曲 ほか

マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)

現代最高のピアニストの一人。アルゼンチン生まれ。ショパン国際コンクールに優勝後現在に至るまで、人気・実力ともに常に世界のトップとして活躍を続けている。



© Jessica Griffin